

新美南吉フィールドワーク を行いました！in 半田市



10/7(金)に、2年生と4年生の合同で、半田市にある新美南吉記念館周辺へ、フィールドワークを行いました。新美南吉は愛知県半田市で生まれ育った作家で、児童文学の金字塔である「ごんぎつね」の作者です。「ごんぎつね」は小学校の国語の教科書にも載り、全国に広まっています。

ごんぎつねには、半田市の新美南吉が暮らしていた町が物語の舞台になっていて、お話冒頭に出てくる村の茂平おじいさんが話をしていた場所や権現山、中山のお城のあった場所などをみることができます。2年生は、第2クォーターでごんぎつねの世界を表現するプロジェクトに取り組みました。

4年生は、国語の教科学習で取り組んでいます。



このフィールドワークを通して、よりリアルに物語の世界に浸ったり、新美南吉の生涯に迫ることで他の文学作品にも興味を持つきっかけになりました。当日に向けて、子どもたちは学年混合でチームを組みました。そして事前学習では班でフィールドワークの目標を決め、どのルートで回るかなどを話し合いました。4年生の子ども達が2年生を引っ張り、2年生も上級生への信頼と尊敬の心もちながら積極的に意見を言う姿が印象的でした。子どもたちはみんな楽しみにしてフィールドワークの日を待ちきれない様子でした。

当日はあいにくの天気でしたが、それでも子どもたちは弱音をはかず、自分たちの力で新美南吉のゆかりある土地を巡りました。実際の生家や常夜燈、神社などを見て、気になったことや新しく学んだものをiPadで撮影しました。

グループでの活動が終わった後は、新美南吉記念館の休憩所でおいしくお昼ご飯を食べました。班ごとに集まって、みんなで美味しく食べました。活動の思い出をあれこれ振り返りながら、みんなで楽しく食べました。少し寒がっている子もいたので、「冷えた体を温めよう！」ということで、食べ終わった後にみんなでソーラン節を踊りました。ソーラン節は、現在2年生がスポーツフェスティバルに向けて練習している演技で、4年生も混じって踊りみんなでポカポカになりました。



お昼ご飯のあとは、南吉記念館の見学を行うことができました。「ごんぎつね」だけではなく、「手袋を買いに」や「でんでんむしのかなしみ」などあらゆる有名文学作品を生み出した南吉の生涯を深く学ぶことができました。特に、記念館内にあるジオラマを見て、「僕たちもこれ作ったよね！」と2年生は嬉しそうでした。記念館の見学が終わった後、子どもたちは遠山館長から新美南吉の生涯にまつわるお話を聞きました。館長さんから「今のみんなの年齢は、いろんなことに1番豊かで素晴らしい感性を持つことができる時期だと思います。その素晴らしい感性を持って、南吉さんのいろんな本を読んでみてください。」というお言葉もいただきました。遠山館長とはこれまでオンラインで交流がありましたが、対面で会えるのは初めてでした。なので、最後は全員で記念撮影！（1枚目の一番真ん中の写真です。）

今回の経験は、子ども達にとって忘れられないような1日になったと思います。2年生はこれからのプロジェクトに、4年生はこれからの教科学習にそれぞれ活かしていけるように、教員も指導・サポートをしていきたいです。

